

# Seven Seas

## TDK Today

株主通信 Vol.71

127期通期

2022/4/1 ▶ 2023/3/31

特集：

テクノロジーですべての人を幸福に  
「Seven Seas」がスタート

# 株主の皆様へ

**自動車、産業機器等の需要を取り込み、  
売上高・営業利益ともに過去最高を更新。**

## 2023年3月期の業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の連結業績についてご報告申し上げます。当期においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大からの社会経済活動の回復傾向は続いているものの、ウクライナ危機等に起因するインフレの継続や欧米各国の政策金利上昇等により、世界経済は減速しました。また、欧米金融機関の経営危機を発端とした金融不安から世界経済の不透明感はさらに高まっています。このような環境のもと、エレクトロニクス市場においては、ICT（情報通信技術）市場において需要が低迷した一方、xEV（電気自動車等）や産業機器等のEX（エネルギー変換）関連需要が堅調に推移し、その需要を確実に取り込んだことから、当社グループの業績は、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

自動車市場においては、半導体不足等のサプライチェーン上の制約が継続しているものの緩やかな回復が見られ、特にxEV比率の増大やADAS（先進運転支援システム）化の進展により部品需要は堅調に推移し、受動部品やセンサの販売が拡大しました。

ICT市場では、PC、タブレット端末の需要が想定を下回ったものの、スマートフォン向け二次電池やセンサの販売が拡大した一方で、HDD（ハードディスクドライブ）ヘッドやサスペンションの販売が大幅に減少しました。また、世界的なエネルギー供給不安や価格高騰の影響により、再生可能エネルギーや家庭用蓄電システム向けの需要は拡大し、中型二次電池や産業機器用電源の販売も拡大しました。

こうした経営環境のなか、2023年3月期の連結業績は右記の通りとなりました。

\*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較しています。

### 2023年3月期 連結業績概要

売上高	2兆1,808億円（前期比 14.7%増）
営業利益	1,688億円（同 1.2%増）
税引前利益	1,672億円（同 3.1%減）
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,142億円（同 13.0%減）

## 2024年3月期の売上見通しについて

2024年3月期の市場動向につきましては、中国において脱コロナによる経済活動の回復基調があるものの、長引くウクライナ危機や金融不安もあり、引き続き世界経済は非常に不透明な状況が続くと予想されます。このような背景のなか、2024年3月期のセグメント別の売上高増減イメージは右記の通りです。エネルギー応用製品を除く3つのセグメントで増収を見込んでいます。

- 受動部品：車両生産台数の増加やxEV化の伸展によるセラミックコンデンサ、フィルムコンデンサ、及びインダクティブデバイスの販売増を見込んでいます。
- センサ応用製品：ICT及び自動車用途で好調な磁気センサや、温度・圧力センサ等の販売増による売上成長を見込んでいます。
- 磁気応用製品：HDDの生産台数は2023年3月期比マイナス5%程度を見込んでいます。データセンター向けHDD市場回復の遅れがあるものの、今期からの売上増を見込んでいます。
- エネルギー応用製品：ICT関連の需要が低調であること、二次電池の原材料価格下落に伴う販売価格の低下などから、売上減少を見込んでいます。

## 2024年3月期の業績と配当の見通しについて

2024年3月期の連結業績と1株当たり配当金の見通しは、右記の通りです。また、株主還元については配当性向30%を目標としており、2024年3月期は10円増配となる116円の配当金を見込んでおります。

短期的には、世界経済のマクロ環境は非常に不透明な状況となることが予想されますが、中型二次電池やセンサ応用製品、受動部品といった主要事業において、成長戦略の施策を実行するとともに、ESGをはじめとする非財務面の取り組みを継続して強化することで、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員 齋藤 昇

## 2024年3月期 セグメント別連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント区分	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想(前期比)
受動部品	5,787	+9 ~ +12%
センサ応用製品	1,695	+7 ~ +10%
磁気応用製品	2,006	+2 ~ +5%
エネルギー応用製品	11,734	-22 ~ -19%
その他	587	-
合計	21,808	20,200

## 2024年3月期 連結業績及び1株当たり配当金の見通し

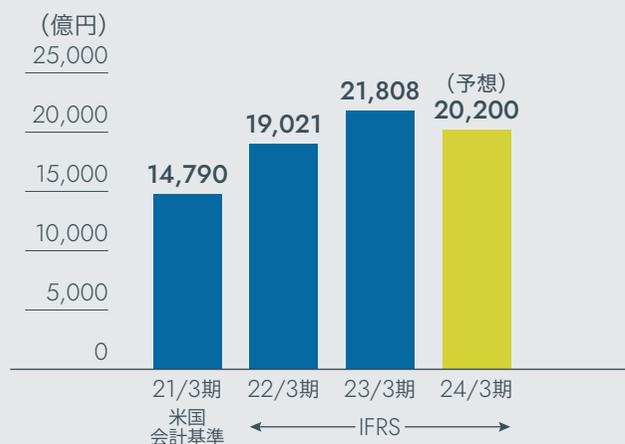
売上高	2兆200億円 (2023年3月期比 7.4%減)
営業利益	1,900億円 (同 12.5%増)
税引前利益	1,880億円 (同 12.4%増)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,470億円 (同 28.7%増)

※通期の平均為替レート対米ドル130円、対ユーロ142円を想定しています。(2023年4月28日公表)

中間配当	58円 (2023年3月期実績 53円)
期末配当	58円 (同 53円)
年間配当	116円 (同 106円)

# 財務ハイライト - 1 主要財務指標等の推移 (予想: 2023年4月28日発表)

## 売上高



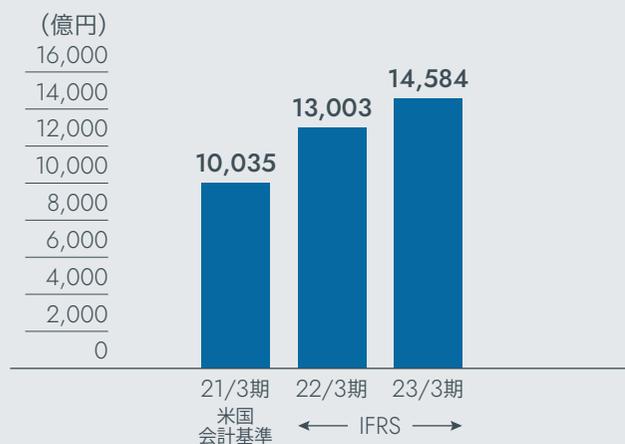
## 営業利益及び営業利益率



## 親会社の所有者に帰属する当期利益



## 親会社の所有者に帰属する持分



## 資産合計/親会社所有者帰属持分比率

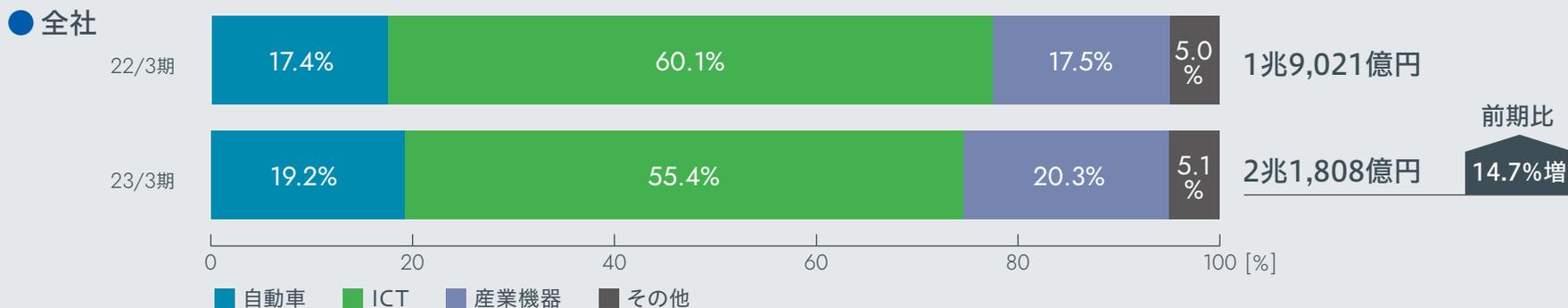


## 1株当たり配当金



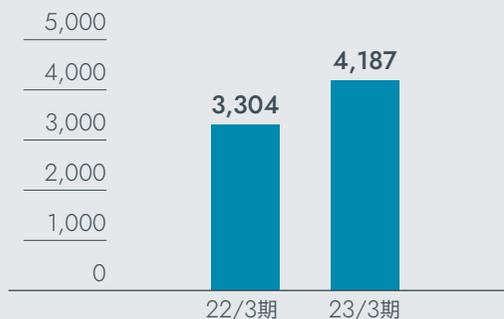
(注) 1. 当社は、2022年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用しています。  
 2. 当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。  
 1株当たり配当金につきましては、2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しています。

# 財務ハイライト - 2 重点分野別売上の状況 (2023年3月期)



## 自動車

26.7%増



### 市場分野別ポイント

- xEV生産台数の増加とADAS化の伸展により部品搭載点数が増加、需要は拡大。
- セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサやインダクティブデバイス等の受動部品に加えて、ホールセンサやTMRセンサ等のセンサ応用製品において増収増益。

## ICT

5.7%増



### 市場分野別ポイント

- スマートフォンの生産台数は前期の水準を大きく下回るも、一部の新モデル向けの需要は堅調に推移。コロナ禍において旺盛であったノートPCやタブレット端末向けの需要は大幅に減少。
- HDDの生産台数は前期の水準を大きく下回り、PC向けのみならずデータセンター向け磁気ヘッド需要が大幅に減少。
- 磁気センサの販売が好調に推移し、収益性も大幅に改善し増収増益。

## 産業機器

32.7%増



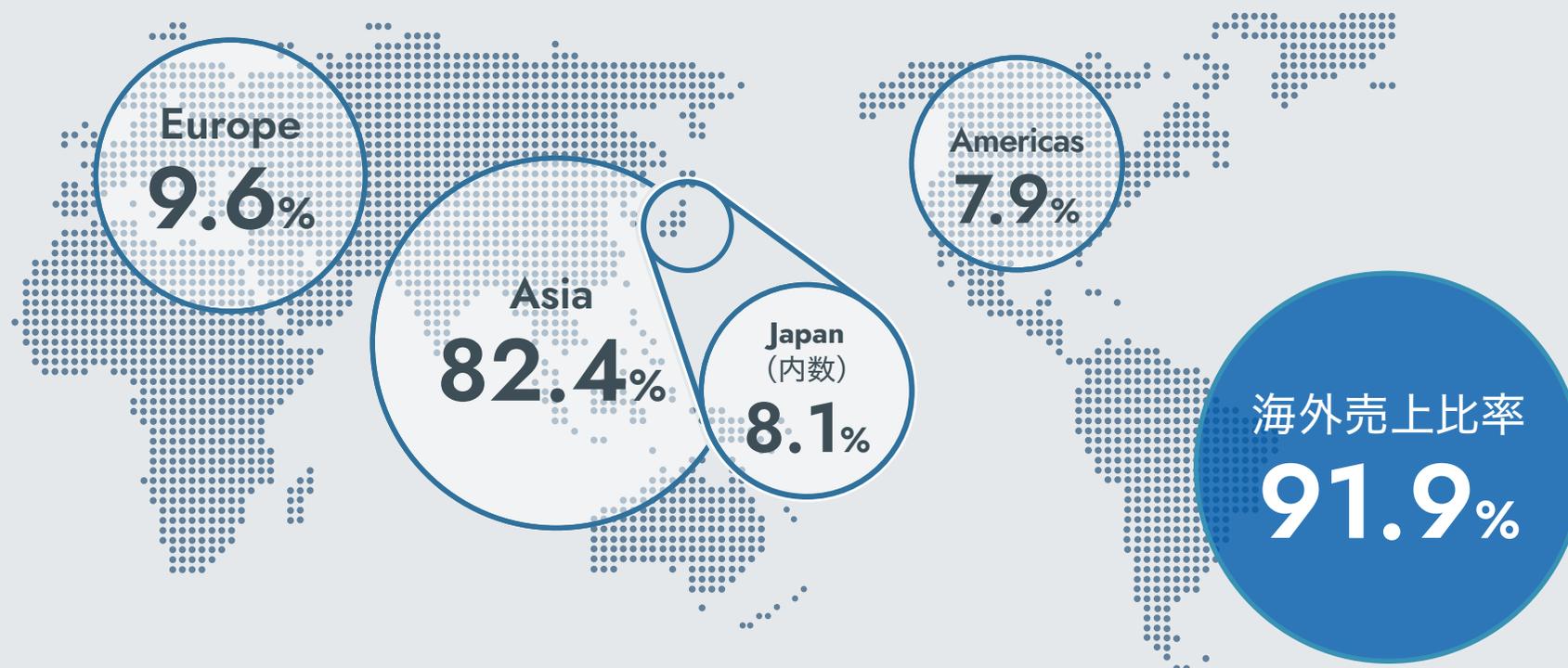
### 市場分野別ポイント

- エネルギー価格高騰に伴い、再生可能エネルギーや家庭用蓄電システム向けの需要が拡大。
- アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサやインダクティブデバイス等の受動部品の販売が増加。
- 中型二次電池及び電源の販売も増加。

(注) 2023年3月期第1四半期において市場の再定義を行い、2022年3月期の数値についても変更後の区分に組み替えています。

## 財務ハイライト - 3 地域別売上構成 (2023年3月期)

TDKグループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。  
また、地域別では、日本を含めたアジア地域が82.4%と、最も大きな割合を占めています。



# テクノロジーで すべての人を幸福に 「Seven Seas」がスタート

TDKグループは、「テクノロジーですべての人を幸福に」というサステナビリティビジョンを掲げ、持続可能で幸福な社会の実現を目指しています。このビジョンに基づき、グループ全体で重点的に取り組む7つの分野を「Seven Seas」として定め、新たなユーザーエクスペリエンスを通じて社会に付加価値を提供していきます。

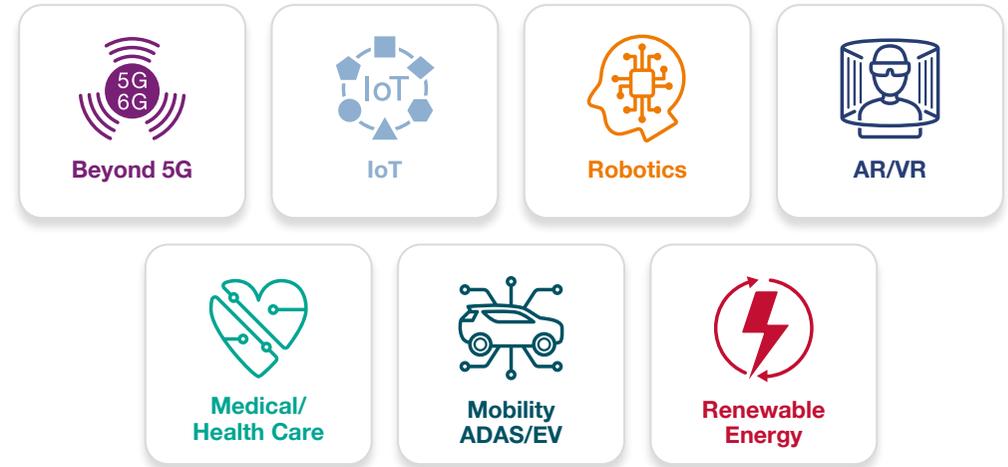


## Seven Seasとは

「Seven Seas」ではTDKグループが取り組む重点分野として「Beyond 5G」「IoT」「Robotics」「AR/VR」「Medical/Health Care」「Mobility ADAS/EV」「Renewable Energy」の7つを定めています。詳細は次ページ以降をご覧ください。

## 持続可能で幸福な 社会の実現を目指して

TDKでは、全世界で急速に進展する「EX(エネルギー転換)」と「DX(デジタル転換)」という2つの潮流を、自社の成長のために注力すべき事業領域と位置づけています。この2つの領域で、持続可能な社会の実現に寄与する価値を創出していくことで、成長の機会を広げ、企業価値向上につなげていきます。



# TDKが長期的に取り組む7つの重点分野と関連するTDK製品

## Beyond 5G



いつでも、どこでも、  
何にでも。  
もっとつながる未来へ。



通信技術の発展は、私たちの暮らしにどんな新しい変化をもたらすのでしょうか。超高速・大容量通信技術を使ったAR(拡張現実)やV2X(Vehicle to Everything)通信にTDKのテクノロジーが貢献します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任

スマートフォン・車載向け  
チップアンテナ



## IoT



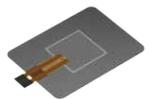
つながる感覚を、  
感動に



産業、医療、農業など、あらゆる分野に変革をもたらすIoT(Internet of Things)。あたかも実際に触れているかのような感覚を与える技術は、デジタルの世界にリアルな感覚をもたらします。TDKはIoT機器を進化させるデバイスを提供しています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任

超薄型アクチュエータ  
「PiezoHapt™」



## Robotics



いつも寄り添う、  
あなたのパートナーに



ロボットと人間が共存する新たな社会が、すぐそこまで来ています。高度な動作制御に欠かせない各種センサや周囲の状況を正確に把握するためのカメラ用アクチュエータなど、TDKの技術がロボットの進化を支えます。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを

TMR角度センサ



## AR / VR



もうひとつの世界が  
目の前に



エンターテインメントから、教育、医療など幅広い分野での活用が進むAR/VR(仮想現実)技術。小型・軽量で、高画質の映像を映し出すデバイスが、新たなデジタル空間への手軽なアクセスを実現します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

超小型フルカラーレーザーモジュール



## Medical / Health Care



### あなたの健康を見守る テクノロジー

各種センサが人の動きや生体情報などを計測することで、健康状態の変化をいち早く知ることができるなど、医療/ヘルスケアのイノベーションにつながります。



IMU (慣性計測装置)



## Mobility ADAS/EV



### 安心・安全で、 サステナブルな移動体験を

ADAS (先進運転支援システム) の実現や、EV (電気自動車) の普及に向けて、TDKの電子部品が自動車の進化に貢献します。

スマートセンシング  
「InWheelSense™」



## Renewable Energy



### 再生可能エネルギーを 当たり前

世界的に脱炭素化の実現を目指すなか、TDKは大容量二次電池や電源製品を通じて、再生可能エネルギーの普及やエネルギー問題の解決を支えます。



RESS (住宅用電力貯蔵システム)



7つの分野とTDK製品の詳細は、  
[Seven Seas Webサイト](#)をご覧ください。

# 世界最小クラスのフルカラーレーザーモジュールを開発

ARやVRなどの新しい映像技術が登場するなか、スマートグラスやヘッドマウントディスプレイなどの映像デバイスも大きく進化しています。TDKはスマートグラスに映像を表示する世界最小クラス※の「超小型フルカラーレーザーモジュール」を開発しました。

このモジュールは、目の網膜に直接映像を投影することで、従来の課題であった視野角の狭さを克服し、約40度の広視野角を実現しています。

実際の風景を見ながら、焦点を変えることなくさまざまな情報を得ることができるスマートグラスの実現や、デバイスのさらなる小型・軽量化に貢献し、映像体験を大きく変える可能性を秘めています。製品の詳細は[こちらの記事](#)をご覧ください。

※2022年10月当社調査

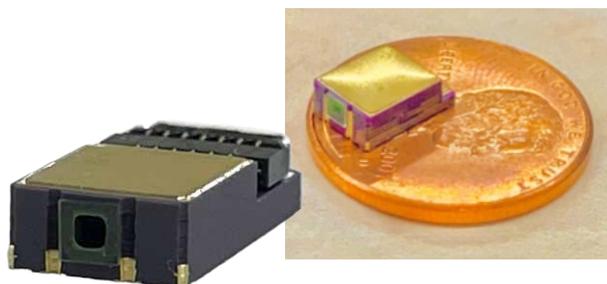


## AR用スマートグラスの進化に貢献



ARスマートグラスでは、現実の風景の上に映像や情報を表示することができます。道案内や商品情報の提供など、さまざまな用途での活用が期待されています。

## 世界最小クラスの小型化に成功



外形寸法は10.8×5.5×2.6mmと、従来製品と比べ、約1/10に。世界最小クラスの小型化、軽量化を実現しました。

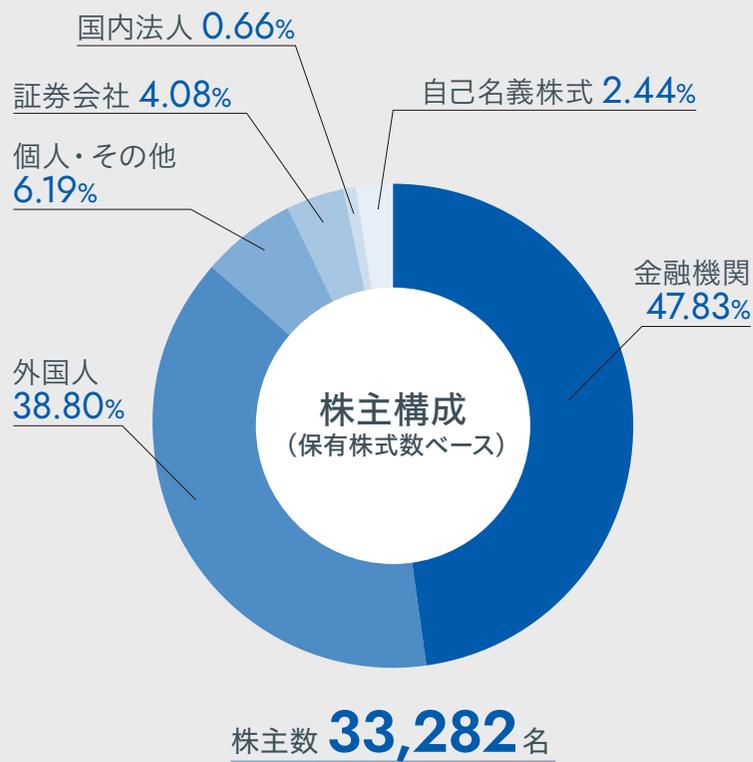
## 各国の展示会で話題に



本製品を搭載したスマートグラスのデモサンプルは、CEATEC 2022 (日本)、electronica 2022 (ドイツ・ミュンヘン)、CES 2023 (アメリカ・ラスベガス) に出展され、大きな話題を集めました。

# TDKについて - 1

## 株主の状況 (2023年3月31日現在)



## 大株主 (上位10名) (2023年3月31日現在)

	株主名	持株数(千株)	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	107,822	28.43%
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	55,184	14.55%
3	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,453	1.96%
4	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,779	1.79%
5	JP MORGAN CHASE BANK 385781	4,803	1.27%
6	HSBC HONGKONG-TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	4,758	1.25%
7	BBH FOR GLOBAL X LITHIUM AND BATTERY TECH ETF	4,500	1.19%
8	JP MORGAN CHASE BANK 385781	4,456	1.17%
9	J P モルガン証券株式会社	3,790	1.00%
10	GOVERNMENT OF NORWAY	3,759	0.99%

- (注) 1. 持株比率は自己名義株式(9,490,269株)を控除して計算しています。  
 2. 持株数、持株比率とも表示単位未満を四捨五入して表示しています。  
 3. 自己名義株式は、上記大株主からは除外しています。

# TDKについて - 2

## 役員の状況（2023年6月22日）

### 取締役（\*印は社外取締役）

代表取締役	齋藤 昇
代表取締役	山西 哲司
取締役会長	石黒 成直
取締役	佐藤 茂樹
取締役	中山 こずゑ*
取締役	岩井 睦雄*
取締役	山名 昌衛*

### 監査役（\*\*印は社外監査役）

常勤監査役	桃塚 高和
常勤監査役	石川 将（新任）
監査役	Douglas K. Freeman** （ダグラス・K・フリーマン）
監査役	山本 千鶴子**（新任）
監査役	藤野 隆**（新任）

### 執行役員

社長執行役員	齋藤 昇
専務執行役員	山西 哲司
常務執行役員	Michael Pocsatko （マイケル・ポチャッコ）
常務執行役員	Andreas Keller （アンドレアス・ケラー）
常務執行役員	佐藤 茂樹
執行役員	Albert Ong （アルバート・オン）
執行役員	指田 史雄
執行役員	Ji Bin Geng （ジービン・ガン）
執行役員	Werner Lohwasser （ヴェルナー・ローヴァッサー）

執行役員	生嶋 太郎
執行役員	橋山 秀一
執行役員	Roshan Thapliya （ローシャン・タプリヤ）
執行役員	Ludger Trockel （ルドガー・トロッケル）
執行役員	筒井 隆雄
執行役員	福地 育雄
執行役員	Joe Kit Chu Lam （ジョー・キット・チュー・ラム）
執行役員	Jim Tran （ジム・トラン）
執行役員	高橋 毅

# 株主メモ

上場証券取引所	東京（証券コード：6762）
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末：毎年3月31日、中間：毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日 (そのほか臨時に必要なときはあらかじめ公告いたします)

定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ <a href="https://www.tdk.com/ja/index.html">https://www.tdk.com/ja/index.html</a> に掲載いたします)
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口
配当金の受取方法の指定・変更、 単元未満株式の買取・買増請求、 住所変更、名義変更等	・証券会社等にて当社株式をお持ちの株主様 ▶ お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
	・特別口座にて当社株式をお持ちの株主様 ▶ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
未払配当金の照会、支払い	・三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

## お知らせコーナー

### ● 配当金の受取方法について：

配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします。

### ● 単元未満株式の買取・買増請求について：

単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください。(但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 **0120-782-031** (フリーダイヤル)  
(受付時間：9:00～17:00 ※土日休日を除く)

### TDK株式会社

〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
<https://www.tdk.com/ja/index.html>